

点検時の不良・要注意指摘事項の 改修をお手伝いします。

「電気設備のことは保安協会に任せています。」
とのお声をよくいただきます。ご信頼をいただき
大変ありがたく受けとめております。

協会の保安技師はどのような点検を行っている
か説明しますと、月次点検・年次点検・臨時点検で、
お客さまの電気設備の点検や測定を、高度な試験
装置や測定器を使用して行い、設備の状態を豊富
な経験で蓄積された保安技師の技術力により確
認しています。

この点検で電気設備に不良・要注意指摘事項が
発見された場合、保安技師はお客さまに分かり易
く説明し改修のお願いをしております。この不良・
要注意指摘事項を放置していると、電気火災、
感電事故、停電等を引き起こすことがあります。

当協会では、そういった事故や故障を未然に防
ぐため、不良・要注意指摘事項の改修についてお
客さまに最適な改修方法や具体的改修に向けて
のご相談に応じています。

高圧受電設備のリニューアルで 電気災害や故障を防止しましょう!!

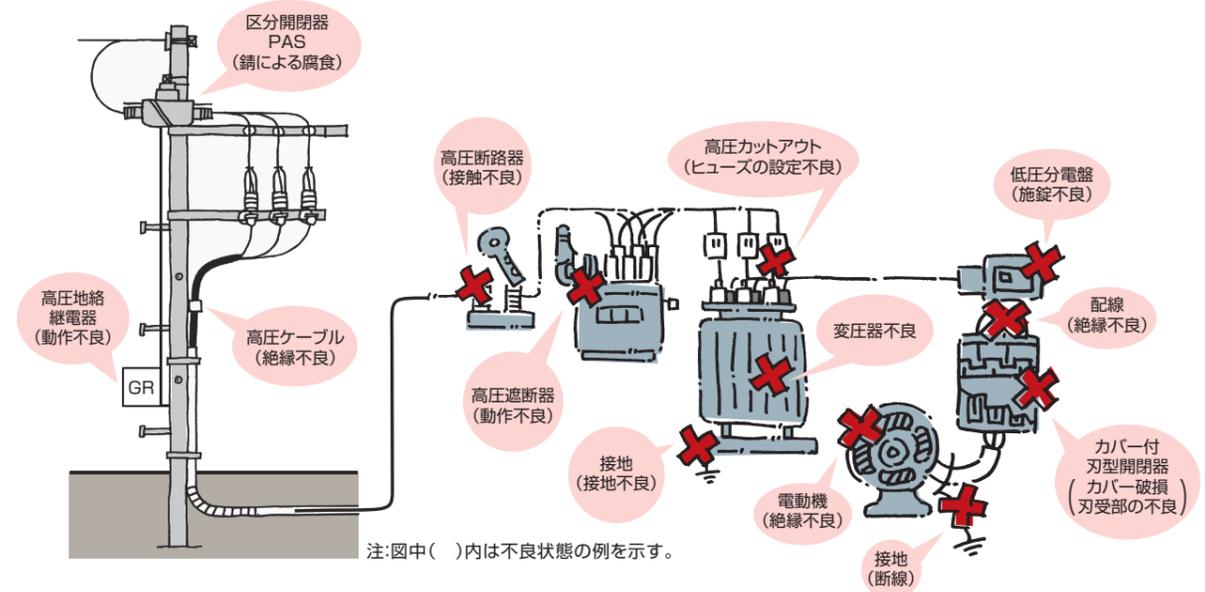
電気設備は、人の身体が年齢を重ねると老化するのと同じように、知らず
知らず劣化していきます。電気設備の経年劣化は、電気火災や感電・停電事故
をおこす原因や、お客さま設備と周辺地域一帯の停電をまねき、復旧までに
多くの損害を与える「波及事故」の原因にもなります。

当協会では、そのような事故がおこらないよう月次点検・年次点検等におい
て電気設備の経年変化にも常に注意を払い、お客さまが安全に安心して電
気設備をご使用いただけるよう努めています。

電気設備の経年劣化具合、更新計画及び更新工事について、お気軽に担当
保安技師にご相談ください。

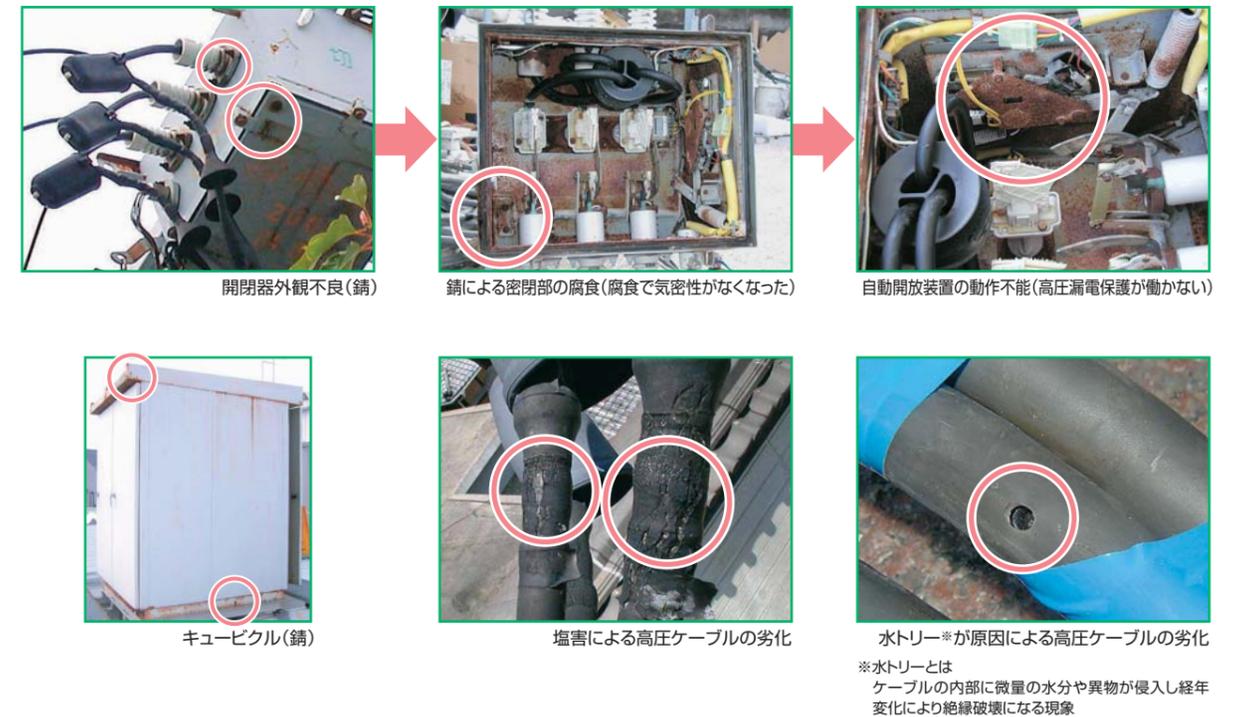


■ 電気設備の不良・要注意指摘事項の早期改修促進と、省エネ対策の検討



●電気事業法…第39条(技術基準適合維持義務)

経年劣化例



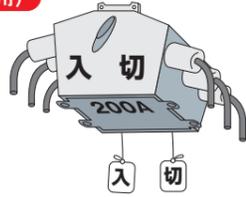
不良・要注意指摘事項の改修についてのご相談は
当協会事業所または担当保安技師にご相談ください。

電気設備の更新についてのご相談は
当協会事業所または担当保安技師にご連絡ください。

① 高圧気中開閉器 (PAS)

10年(屋外用)~15年(屋内用)

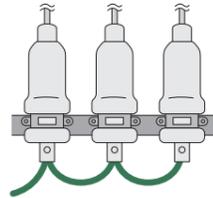
引込口の電柱に設置され高圧の電気を「入り」「切り」するものです。点検・緊急時は手で操作網を使用して操作します。漏電時には、④地絡継電器からの信号を受け自動で電気を「切る」動きをします。(波及事故を防止します。)



② 避雷器 (LA)

15年

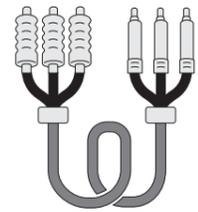
電力会社の配電線から侵入してくる雷などの異常な電気を、地面(大地)に逃がして、電気設備を守るものです。



③ 高圧ケーブル

15年~20年

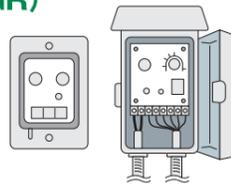
高圧の電気を安全に送る電線です。昭和51年以前に製造されたものは早急に交換をお願いします。水トリー*の発生で事故が発生する恐れがあります。



④ 高圧地絡継電器 (GR)

15年

電気が漏電した場合に検出して①高圧気中開閉器や⑥高圧真空遮断器・油入り遮断器、⑧高圧負荷開閉器へ「切る」信号を送るものです。



⑤ キュービクル

15年

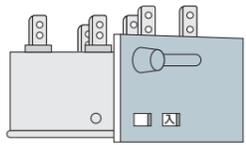
電気設備機器を金属の箱に収めたものです。箱体に錆が発生する場合がありますので早期補修が長期使用のコツです。



⑥ 高圧真空遮断器・油入り遮断器 (VCB・OCB)

20年

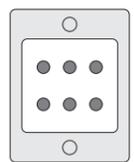
変圧器の容量が大きい設備の電気を「入り」「切り」するものです。高圧の電気が漏電した場合や短絡(ショート)したときに、④地絡継電器や⑦過電流継電器と合わせて電気を「切る」動きをします。



⑦ 過電流継電器 (OCR)

15年

電気が短絡(ショート)した場合や使い過ぎの状態を検出し、⑥高圧真空遮断器等へ「切る」信号を送るものです。



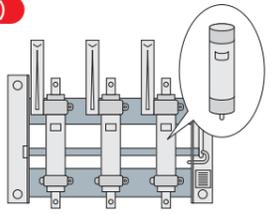
電気設備更新の目安

電気設備の代表的な機器について、更新推奨時期と主な用途についてまとめてみました。電気設備の経過年等ご不明な点やご相談がありましたら、お伺いしている担当保安技師か最寄りの協会事業所へお気軽にお問い合わせください。

⑧ 高圧交流負荷開閉器 (LBS)

10年(屋外用)~15年(屋内用)

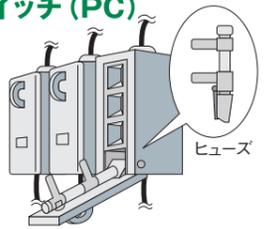
変圧器の容量が比較的小さい設備の電気を「入り」「切り」するものです。高圧限流ヒューズと組み合わせて使用します。①高圧気中開閉器と同様に④地絡継電器と合わせて電気を「切る」動きをするものもあります。



⑨ 高圧カットアウトスイッチ (PC)

15年

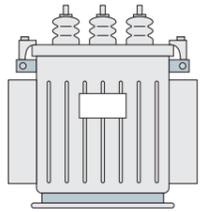
カットアウト用ヒューズと組み合わせて、変圧器等の機器を切り離す役目をします。ヒューズの定期的な取替をお勧めします。



⑩ 変圧器 (Tr)

20年

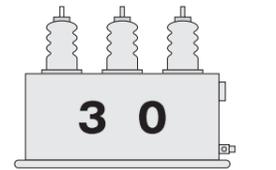
高圧の電気をお客さまが使用する電圧に変換するものです。この変圧器の大きさで電気設備の使用できる限度が決まります。(中に入っている油に、PCBが混入していないか分析が必要な場合があります。)



⑪ 高圧進相用コンデンサー (SC)

15年

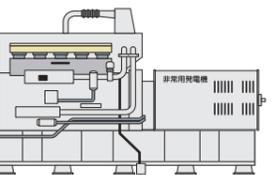
電気機器を使用した場合、有効に消費される電気と、僅かではありますが、消費されない無駄な電気が流れます。その無駄な電気を発生させないために取付けます。(この機器により電気料金の基本料金が割引されます。)



⑫ 非常用予備発電装置

15年

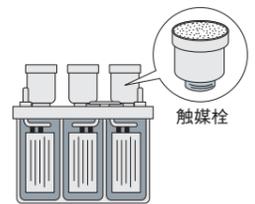
電気が停電した場合、エンジンを起動させて発電機を運転し、消防設備や非常用電気設備に電気を送る装置です。永くお使いいただくために定期的な点検・整備をお勧めします。



⑬ 蓄電池 (バッテリー)

10年

電気が停電した場合に動く発電装置のエンジン起動や、非常照明の電源に使用されます。バッテリーのキャップ部分に触媒栓という、バッテリー液の減少を防ぐ栓が装着されているものもあります。(有効期限に注意が必要です。)



更新年は、(社)日本電気工業会の「汎用高圧機器の更新推奨時期に関する報告書」等の文献を参考に算出したものです。電気設備の使用状況や環境条件によっては年数が異なってきます。